
日常物(仮)

兵糧倉庫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日常物（仮）

【コード】

N3894S

【作者名】

兵糧倉庫

【あらすじ】

青年は歪つな高校生活を送る。
は、わからない。

それが、青年の為になったか

とある伝説

おばあちゃん。

なんだい？

何時ものお話聞かせて！

何時もの、って言うと異界の勇者の話しかい？

そう！そのお話！

私あのお話が1番好き！

うん、じゃあ話し始めましょうかね。

昔、昔。

ある国が別の世界の人を召喚し、その国の王様が、召喚された青年に魔王を倒してくれないか、と問いかけました。

召喚された青年はその質問にわかりました、と力強い声で返しました。

その国の王様は、たいそう喜び武器庫の中にある物ならば、なんでも持って行ってよい、と召喚された青年へと言うと、青年も感謝の言葉を王様にいいました。

それから青年は魔王を倒す為に、何年もかけて剣の技術を磨き、それに合わせて魔法の技術も磨きました。

青年は、魔王によって荒らされている村や町等を救いながら、魔王の居城に向かって旅をしていました。

ですが、魔王の居城へと向かう道のりは、決して楽な道のりとは言えませんでした。

ある町では、魔王直属の配下である四天王の一人が、町を支配していて、四天王を倒さなければ進めなく、四天王は強く、青年でも三日三晩にわかる激闘を繰り返して、なんとか勝った、といった有様でした。

でも、青年は少しずつですが、魔王の居城に近付いてました。

それから先も、青年の前には色々な妨害が立ちはだかりましたが、青年はそれらを事々く解決したり、救ったり、助けたりしました。

召喚された城を出てから一年。

青年は漸く、魔王の居る城へと着きました。

そこから先のことは青年が何も言わないので、魔王の居城でどのようなことがあったのか、魔王の見た目はどのような物だったか、等はわかりません。

ですが、青年は無事魔王を倒して城へと帰還し、元の世界へと帰りました。

めでたし、めでたし。

ふう、これで良かったかい、？

うん！何回聞いてもこのお話は飽きないよ！

そうかい。じゃ寝ましようかね、。

うん、おやすみおばあちゃん。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3894s/>

日常物(仮)

2011年10月6日01時01分発行